

オーマイニュース（日本語訳）

2008. 10. 30 21:41

ユン・ソンホ記者

日本の「コウノトリ市長」—韓国「トキ知事」と会った

「コウノトリ市長」として知られている兵庫県豊岡市の中貝宗治市長と「トキ知事」として知られている金台鎬（キム・テホ）慶尚南道知事が会い、環境保全を通じた経済発展方案について意見を交わした。

中貝市長は30日、慶尚南道庁を訪問し金知事と会った。ラムサール総会に際し「湿地ガバナンスフォーラム」に参加した中貝市長は30日午後、金台鎬知事執務室を訪問して豊岡市で推進してきた政策などを説明し、トキの復元（訳者注／野生復帰）を推進しようとしている慶尚南道の政策方向に共感すると共に相互協力を約束した。

中貝市長はコウノトリを復元して2005年に放鳥させ、コウノトリ復元のために親環境（訳者注／環境にやさしい）農法を奨励したばかりか、コウノトリタワーも運営した。その結果、豊岡市のクリーンなイメージが構築されたのはもちろんのこと、コウノトリブランドによる観光客の増加だけでなく、太陽電池エネルギー企業の誘致まで成し遂げた人として、日本では「コウノトリ市長」というニックネームで有名だ。

コウノトリは我が国の天然記念物第199号（訳者注／韓国では天然記念物に番号がつく）に指定されていて、毎年、局地的にやってくる冬の渡り鳥で、現在、コウノトリの復元も推進されている。トキは天然記念物第198号で1980年以降に姿を消し、去る17日に中国・洋県から2羽が寄贈されてウポ沼で復元事業が進行されている。